

Q & A 一 般 質 問

議員は「住民に代わって」村の行政全般に対して、事務の執行状況や将来の方針、計画あるいは疑問点などについて所信や疑問をただすことができます。

表紙は語る

11月10日、朝7時を過ぎた頃の若郷、渡浮根漁港内にぎわい。この日は海老網の解禁日で、前日仕掛けた網を暗いうちから出漁し数時間かけ引き上げ戻ってきたところ。

岸壁近くで網を広げ、家族、親せきの共同作業で手際よく海老を抜き取っていく。本日の収穫はどんなものか？笑顔に満ちた活気から豊漁であったにちがいない。

宇山誠二議員



答

本村地区下水道の状況は管染整備率、24年度末で約80%、処理場ポンプ場施設整備率約50%、下水道への接続率約55%で未接続者には接続促進の通知をしており、今後個別訪問等により、接続率向上に努める。

問

本村地区下水道事業の状況と接続率における今後の状況次第では、将来村財政を悪化させる要素になると思いますが、今後の対応につきお伺いする。

適切な災害情報の住民への周知について

問

防災行政無線のデジタル化工事が、24年、25年度の2か年で行われませんが、今後の防災ハード事

答

24年、25年度事業として島庁跡地の避難所整備、設計、式根島、若郷地区の防災貯水槽、小型ポンプ積載車2台の更新と今回本村備蓄倉庫設計、25年に竣工予定で防災ソフト事業は南海トラフ巨大地震に伴う巨大津波については、すみやかに高台に避難する事を基本として、すべての住民が共有し、あらゆる関

業の予定と防災意識の向上に始まる防災ハード事業の対応につきお伺いする。
係機関、団体を通じ防災啓蒙活動を行う。

青沼進二議員



南海トラフについて村の対応は

問

8月29日の内閣府中
央防災会議では、南
海トラフ巨大地震において
島嶼全体で1千500人の
犠牲が出、新島村は31メー
トルの大津波になると想定
されている。

村は現在、徒歩と車に分
けた避難ルートを地域ごと
に策定中とのこと。その内
容をお聞きする。

また村の重要な施設の移
転・建て直し等、早急な対
策が必要かと思う。村長に
お聞きする。



9月10日の防災会議
で発災型津波避難訓
練を行なうことが決まっ
た。大津波警報から10〜13
分、基本は徒歩、一部車両
を想定する。

答

車両での避難ルートの策
定は今後、警察との協議が
さらに必要となる。訓練
を重ね、よりよいハザード
マップを作成する。

公共施設の高台への移転
は、お年寄り等の住民の利
用に不便を生じるので、こ
の点をふまえて今後検討して
いきたい。

いじめの問題について

問

新島村の各学校にい
じめがあるのかどう
かお聞きする。学校にはス
クールカウンセラーがいる
が、その先生に相談がある
のかどうかお聞きする。
また教育委員会はどのよ

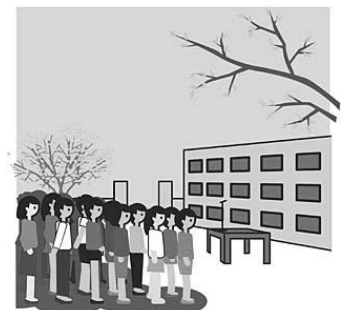
うな問題意識を持つてどの
ような対策を立て指導を考
えているのか、お聞きする。

答

7月に管内小・中学
校の4校に対し、い
じめに関する緊急調査を実
施した。

その結果、いじめを認
知した件数は小学校では1
件、中学校はなし。いじめ
の疑いがあるとしたのは小
学校では1校、2件。中学
校では1件が報告されてい
る。

いじめとされた件は既に
学校で対応し解決している
が、現在慎重を期し経過観
察をしている。いじめの疑
いのある中学校の件は、学
校全体の問題として対処
し、その解決に向け鋭意継
続的に対応している。
スクールカウンセラーの
活用は基本的に保護者、生
徒本人の申し出によること



になっっている。教職員も生
徒指導等の相談などに利用
している。

教育委員会としては各学
校との連携を密にしてい
じめに関する事案は隠へいす
るな、ささいなものでも速
やかに報告するよう、と
指示している。

山本均議員





この夏の観光はどうだったか？これからどうしたらいいのか？

問

昨年は東日本大震災の影響でどの島嶼も対前年比90%程度

ひどいものだった。その分この夏にかける思いは並々ならないものがあつたわけで結果はどのようなものだったか。また今後どのようにして来島者数を増やしていくか村の全体的な対策等を教示願いたい。

答

災害発生前の22年度対比で見ると、新島、式根島全体で483人増、101.69%となつてほぼ例年並みと考えてよい。

今後の観光は両島ともまず観光に携わる方が一致団結して他の観光地と競争できる態勢を作つてほしい。

村の地震、津波対策は万全か？

問

前回の回答では村は防災会議を開き、備

蓄倉庫の高台移転、避難方法等を検討したということだが、その後の進捗状況はどのようになっているか。またことしの防災訓練はどのような形で実施するか。

答

備蓄倉庫は今回設計費を計上し、来年度施工の予定。避難路、避難ルートは本村地区は6町会の班長以上の方々に集まつてもらい徒歩での確認を行なった。仮の緊急避難場所として寺ん山、観音様、宮塚山入口、瀬戸山を指定し、9月の予算に周辺の伐採経費、保育園とえびね公園の間から山に上がる道の整備を計上した。

避難訓練は発災型を行な

うことにし、発災後10〜13分ほどのくらい避難できるか、それぞれ確認していた

だ。

村の予算執行は大丈夫か？

問

9月8日に通常国会が閉会となり、特例公債法案が審議できず廃案となった。現状では11月中旬の財源が枯渇するとい

うことだが、現時点で国からどのような通達が示されているのか。これに対して村はどのような対応策を考えているか、教示願いたい。

答

地方交付税の9月分の普通交付税は、市町村分は9月11日に交付されている、国庫を財源としていくつかの普通建設事業はすでに発注済で残る事業も補助金等の内示額の変更通知がないので現状の予算に基づき事業執行をしている。